

# ＪＲ中野東駅及びＪＲ安芸中野駅周辺地区 バリアフリー基本構想

平成２１年（２００９年）３月

広島市

# 目 次

	頁
<b>1. 基本構想の作成方針</b> _____	<b>1</b>
(1) 基本構想の位置づけと作成体制	
(2) 基本構想作成の基本的な考え方	
<b>2. 広島市の現況</b> _____	<b>3</b>
(1) 地域の概要	
(2) 高齢者、障害者の状況	
(3) 公共交通機関の現況	
<b>3. JR中野東駅及びJR安芸中野駅周辺地区の現況</b> _____	<b>9</b>
(1) JR中野東駅	
1) 地域特性	
2) 利用状況	
3) 駅施設及び周辺地区のバリアフリー化の現況	
(2) JR安芸中野駅	
1) 地域特性	
2) 利用状況	
3) 駅施設及び周辺地区のバリアフリー化の現況	
<b>4. ワークショップ、タウンウォッチングの実施</b> _____	<b>13</b>
(1) 第1回ワークショップ	
(2) タウンウォッチング	
(3) 第2回ワークショップ	
<b>5. 重点整備地区の区域、生活関連経路</b> _____	<b>25</b>
(1) 重点整備地区の区域	
(2) 生活関連経路の設定	
<b>6. 重点整備地区における移動等円滑化に関する整備方針</b> _____	<b>25</b>
(1) 公共交通機関のバリアフリー化の推進	
(2) 歩行空間のバリアフリー化の推進	
(3) 心のバリアフリー化の推進	
<b>7. 実施すべき特定事業とその他の事業</b> _____	<b>28</b>
(1) JR中野東駅	
1) 公共交通特定事業	
2) 道路特定事業	
3) 交通安全特定事業	
4) その他の事業	
(2) JR安芸中野駅	
1) 公共交通特定事業	
2) 道路特定事業	
3) 交通安全特定事業	
4) その他の事業	

## はじめに

平成12年11月に施行された交通バリアフリー法（高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律）及び平成18年12月に施行されたバリアフリー新法（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）に基き、本市では、平成14年5月にJR広島駅、平成17年6月にJR横川駅及びJR五日市駅、平成19年3月にJR新井口駅とその周辺地区について、交通バリアフリー基本構想を取りまとめました。

これらの基本構想に基づいたバリアフリー化事業は、駅及び駅周辺の道路について着実に進められ、JR広島駅については平成16年度末に、JR横川駅及びJR五日市駅については平成18年度末に事業が完了し、JR新井口駅については平成19年度より事業着手しています。

これらの駅に引き続き、平成19年度にはJR中野東駅及びJR安芸中野駅とその周辺地区に関するバリアフリー基本構想の取りまとめに着手しました。

JR中野東駅及びJR安芸中野駅は、各駅とも1日当たりの乗降客数が約6千人であり、安芸区の交通拠点としての機能を有し、また、周辺地区には、官公庁施設、商業施設等の都市機能が集積しているなど、今後も多数の利用が見込まれます。

今後は、JR中野東駅及びJR安芸中野駅のバリアフリー化を進めるとともに、周辺地区に点在する公共公益施設への円滑な移動を確保するため、基本構想に基づく一体的かつ重点的なバリアフリー化を進めます。